

< 集落を基礎とした営農組織の育成に取り組んだ事例 >

## 集落営農組織により地域農業の活性化を図る

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	とやましやまだこじま 富山県富山市山田小島				
協定面積 30.3ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地	
	水 稲				
交付金額 580.1万円	個人配分			50%	
	共同取組活動 (50%)			役員報酬	2%
				水路農道維持管理費	28%
				農用地維持管理費	5%
				視察研修費	2%
			積立(施設)	13%	
協定参加者	農業者 34人				

### 2. 取組に至る経緯

個別完結型農業による農業用機械の老朽化や農業従事者の高齢化など、中山間地域が抱えている課題を打開するため、当集落では平成 11 年に集落営農組織を設立し、農業の持続、農用地の維持管理を行ってきたが、組織役員の高齢化が進み集落の活力に翳りが見え始めてきている。

### 3. 取組の内容

集落営農組織の設立以降は順調に運営されてきてはいるが、二期対策からは営農組織の組織役員をスムーズに世代交代させ、若年層に中山間地域農業の持続の意識を高揚させるとともに先進地視察等を実施してきた。その結果、生産調整におけるそばの作付面積の拡大や集落で初めてそば祭りを開催するなどの取り組みを行っている。

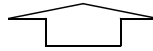


集落営農による収穫作業



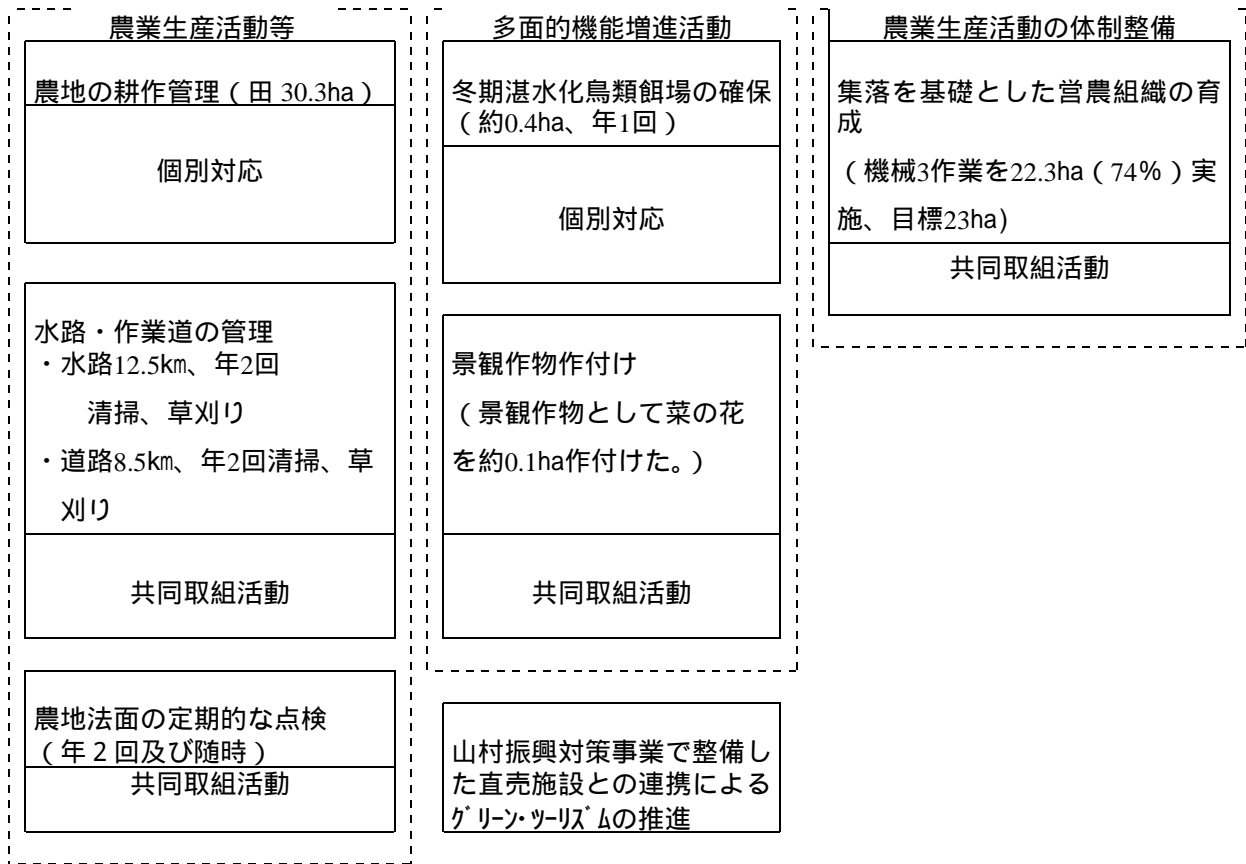
農用地の共同草刈作業

[ 集落の将来像 ]  
 「小島に生まれ、住んでよかった」と実感の持てる集落作り



[ 将来像を実現するための活動目標 ]  
 集落営農組織を母体とした農用地の管理及び有効活用を図り活力と魅力のある集落を形成する。

[ 活 動 内 容 ]



#### 4 . 取組による変化と今後の課題等

役員の世代交代を行ったことにより、若年層に農業持続の意識が定着し、非農家を含めたそば祭りを開催するなど今までにはなかった取り組みを実施し、集落に活力を与えてきている。今後は、さらに営農組合未加入者に対して参加を促し、全戸型営農組織の確立に向け努力していくところである。

[ 平成20年度までの主な成果 ]  
 ・生産調整におけるそばの面積拡大（当初 0ha、H20実績 2.0ha）  
 ・共同作業用機械の購入  
 ・そば祭りの開催（70名参加（H20））